



東 北 方 面

名掛町十字路に電車停留所

宮城縣名掛町の十字路は交通頻繁の地區に屬するため、不慮の災禍を買ふもの多き實情に鑑み市電車課では信號手を配置するに至つたが、更に同町では玉澤支店前に停留所を設けて、一般の便利に資すると共に危険の頻發を防止せんが爲、縣市兩當局に講願の手續きをとりつゝある、此地點の停留所に就ては豫て町内有志から縣土木課長に請願してあるのだが、驛前と元寺小路との二停留所間にあつて距離甚だ短く、茲に

新設の必要を認めずとして殆んど取合はぬ有様なので、然らば前記の兩停留所をそれぞれ南北に移動せしむれば設置の條件に合致するではないかと再三折衝中此間に早くも二人の犠牲者を出したので、斯くては今後の成行きに寒心すべき點甚だ多く、獨り信號手の活動のみに信賴するには地區が餘りに雜沓過ぎる状態その理由を以つて今回偶々昭木課長に要請した筈であるが猶諒解を得るに至らない場合は牛塚知事に面談して善後措置の攻究を懇願する豫定である。

鐵砲町通りの坂路改修

宮城縣鐵砲町通りの坂路改修に要する敷地買收の狀況は値段の點に於いて縣土木課と各地主との協調が成立せず一時停頓の状態に陥つたのであるが、其の斡旋に當つた佐藤、梅津兩市會議員の奔走もあり且は各地主に於ても坪八十圓當りを低價に過ぐるこ主張するは公益事業に對し穩でないといふ様なわけで諒解を與へ二十七日田村氏を最後として全部調印済みなつたので、翌二十八日から家屋の移轉を開始するに至つたため片ツ端から工事を進め産博開期前に竣成せしめることになつた、同町通りは二十人町と共に産博の開期中は純乎たる人道となり車輛の運轉を禁止する筈であるから此改修施工に依つて一般の受くる利便は非常に大なるものである。

金華山道路改修落成式

金華山道路改修工事落成式は四月八日午後一時から鮎川港に於て舉行した、當日は

縣官其他各關係者等約二百餘名の出席で鮎川村空前の賑ひを呈した、折柄の好天氣にめぐまれた沿道各村ではアーチ、國旗等で裝飾し附近各村からの人出多く半島地方空前の盛況を見た、之よりさき地元鮎川村では係員が總出で、會場の整理をなし新設黒崎公園に特殊園遊會を設ける等、至れり盡せりの有様、型の如く知事の祝辭、高橋縣議、石卷町長等の祝辭、鮎川村會代表として鈴木甚吉氏、山口仙臺市長、玉井庸治郎氏等の祝電を朗讀、式後園遊會を催し終つて縣官一行は黒崎公園施設の視察を遂げ三浦署長の世話で捕鯨事業の視察等をなし最後に粟野旅館に落着いて祝宴會を開いた。

黒川郡内の道路改修

宮城縣黒川郡の道路の悪いところは有名なものであるが、これが改修整理を閉却する時は産業は萎縮し、黒川郡は途に立つ能はざる悲境に陥らなければならぬ、吉田縣

議はこれを甚だ遺憾として郡民にも誓ひ、縣と折衝を重ね土木課長の視察を乞ふなど盡力の結果、縣に於てもこの惡道を見ては放任するに忍びず、昭和二年度に於ては鹽釜吉岡間の改修工事を施行するに至り、次いで鳥谷仙臺線の改修に着手し、また國道四號線の徹底的改良工事も近く施行すること、なつたが、その他志戸田仙臺線、吉岡鹿島臺線等も相當修繕をなす模様である、これが竣功の暁は黒川郡開發の上に如何に好影響を齎らすか誠に黒川郡民にとつて一大福音と言はなければならぬ、これ畢竟するに川越土木課長の英斷と工區員の熱誠吉田縣議の盡力の賜ものに外ならないと郡民は等しく感謝の意を以つて迎へてゐる。

關 東 方 面

埼玉縣瀧岡橋竣功す

九號國道瀧岡橋は四月十四日竣工した、

今其の概要を記せば橋長四百八拾四尺餘の鋼板桁橋であつて徑間は六十呎二吋のもの六連、六十呎三吋のもの二連で有效幅員は三間半を有し、産業の發達や交通の疊進に適應せしむる爲に、専ら堅牢を旨とし華美を尙はらず壯重と安固を期して居る、橋臺の正面と袖は鐵筋混凝土で表面煉瓦張隅石笠石は凡べて茨城縣稻田産花崗石、基礎は松丸太杭打工であつて、橋脚の基礎は外徑十尺、内徑八尺、高十八尺の鐵筋混凝土造とし井筒二個を沈下し、其の上に耐震的橋脚を施工して井筒と橋脚とは鐵筋で連絡してある、鋼板桁は六十呎高六十吋の鋼板を間隔十五呎に置き十五吋の鋼板橫梁を十二呎間に銜付し、又鋼板桁の外側には十二呎間に三呎の「鋼板ブラックケット」を銜續してある、上部構造は鋼板橫桁の上に十吋半字型鐵桁を三呎間に配列して其の上に七吋厚の鐵筋混凝土床版を施工し橋面補裝としては二吋厚の砂拔混凝土を施してある、砂

拔濕凝土の碎石は稻田産花崗石の碎石三分以上五分止めを使用し、親柱は全部花崗石で徑三尺の圓筒形とし、また高欄は笠石東柱共稻田産花崗石を使用し、其の他は全部鐵筋凝土施工とし橋自體裝重にして清新なる氣分を有し通行者は自づこ快感を覺ゆるのである、口繪に掲げてあるのが此の瀧岡橋である。

東 海 方 面

道路改良の支部を設立

愛知縣土木部では、愛知縣民が他府縣に比し道路に對する愛護觀念に乏しい嫌ひがあるので、道路智識を涵養する爲め、今度道路改良會の愛知縣支部を設け廣く郡民から會員を募集して道路に關する講演會、講習會等を開くこととなり目下之れが準備中であるが、遅くも五月中には設立を見る筈である。

自動車専用道路の出願 縣でも實現に力瘤を 入れてゐる

愛知縣に於ける自動車専用道路は、昨年三月認可申請した、豊橋、豊川間を始め昨年十二月岐阜、名古屋間、本年一月名古屋母間の専用道路を、何れも認可申請したが、これに引續いて目下三谷、蒲郡間、名古屋、宇治山田間も計畫され近く出願の運びに至る模様であるが、これが提出の上は

愛知縣に於ける申請自動車専用道路は五線に上る譯で、愛知縣としても、此續出する自動車専用道路に對して、どの程度に條件を附するか、目下研究中であるが、規定として、此自動車専用道路は幅員三間の補裝を行ふこととなつてゐるので、これらは勿論行はれるが、其の他愛知縣としては此道路は廣く公用せられるもので永久一個人或は一會社の所有として置くことは不可能

なので、種々調査研究の結果、専用道路開通の日から三十ヶ年を経過した場合は、これを縣に提供するとの條件を附して、認可申請の復申をつける筈である、尙ほ現在此自動車専用道路は全國でも兵庫縣に一線あるのみで、愛知縣下から五線も出願を見てゐるのは、如何に愛知縣が産業的交通網を必要としてゐるかが何ばれ、縣としても地方開發の上からは非とも全部實現する様、力瘤を入れてゐる。

近 畿 方 面

鴨綠江の鐵橋より長い

東洋一の吉野川橋

鴨綠江の鐵橋よりも長いことに依つて、開通後は一躍東洋一の長橋となつた徳島縣吉野川橋架設工事は、今や着々工程を進め既に十七ワールン（釣構）のうち十二まで完成し、本年十月には開通の運びである。

着工以來滿三ヶ年で工費は下部に四十三萬四千圓、上部に六十七萬圓計百十萬餘圓を要した、橋は鋼鐵グリーン式カーブド・ロード・トラス橋で、有效幅員三千五百十一呎（九町四十八間三尺）奔突する四國三郡の流れに、根を洗めた十六基の鐵筋コンクリート橋脚上に架渡する虹の如き鋼鐵の橋梁は自重實に二千五百三十九噸、これを貫て直すに六十三萬四千七百五十貫だから、丁度四萬二千人以上の人間の總重量に匹敵する、すばらしい自重を持つてゐる。

道を愛するもの

三百六團體表彰

道路愛護精神普及を目的とする第二回兵庫縣道路共進會は、四月九日十時から縣會議事堂に開催、長知事、鵜澤内務部長、田邊土木部長外係官、縣會議員並參加團體代表者等三百餘名出席、永木囑託舉式の旨を告げるや鵜澤審査長、審査報告をなし終つ

て褒賞授與に移り

一等（賞金二百圓）川邊郡西谷村道路愛護會外十九團體、

二等（賞金百圓）有馬郡大澤村道路愛護會外三十五團體、

三等（賞金五十圓）西宮市北濱青年會外七十一團體、

四等（賞金三十圓）武庫郡山田村青年團、

五等（賞金ナシ）加東郡米田村戶主會外百三團體、

へ夫々長知事から賞狀を授與し、次いで篤行者を表彰し、引續き知事の式辭、來賓祝辭、受賞者總代の答辭等があつて同十一時閉式した。

中國方面

生口島の海岸に

道路新設の議起る

廣島縣豊田郡西生口村では、同村字垂水から南生口村字田高根に通ずる海岸線約一里は、全く道のない箇所があり交通頗る不便を極め、數年前からしばしば道路新設の議が起り、南生口村と合議の上、工事に着手すべく計畫されたことも數回にわたつてゐたが、何分難工事であるので、いつもお流れの形になつてゐたが、今回府縣道として認定されたので、此の期に於いて是非とも工事を起すといふので村會に於いて議決し着々準備も進捗してゐる模様である、右道路が成功すれば生口島一周線が完成することになるので、地方人の喜びは、一方でない。

土木作業功勞者

西伯郡大和佐陀青年團へ

縣より功勞金交付

鳥取縣西伯郡大和村大字佐陀村にては近時道路の交通量著しく増加し殊に自動車の

如き高速度の交通機關益々發達し爲めに路面の破損甚だしくなりしに拘らず限りある縣費を以て之が維持修繕をなし完全を期するは至難であるを認め地元居住民たる青年團在郷軍人分會等をして奉仕的に作業に従事する事を奨励したる結果道路の維持修繕に努力し交通を安全ならしむるころあり佐陀青年團は率先して地元國道十八號線佐陀地内全部を一ヶ年間奉仕的維持修繕方を出願し昨年四月より本年三月迄即ち一ヶ年間農閑期及び休日を利用して出役し今回完成をつげたる功績は洵に美舉であり他の模範たるものであると認められ縣に於ては土木作業の成績を審査の上功勞金として今回金五十圓を交付することとした

三段峽線の交通機關完備す

文化の促進と地方發展を主眼とする、交通機關は本支線の鐵道施設或は山間僻地に至るまで自動車網を張る等相當行渡つてゐ

るが、廣島を起點として、太田川に沿ひ山縣郡へ向けての自動車は、加計町を経て三段峽行自動車しかなく小濱から小河内村を経て、山縣郡今吉田に通ずる府縣道は交通頻繁なるにも拘らず、これが機關なきため交通の不便甚しく、地方の利害に重大なる關係があるので、沿道の各村識者間において自動車の運轉は多年の宿望であつて、豫て廣島市鷹匠町に事務所を有する三段峽自動車株式會社社長田中大郎氏に依つて其筋に申請されてゐたが、いよ／＼本年認可されたので、同會社は運轉に際し多少の犠牲は拂つても萬遺憾なきを期するやう着々準備中であつたが、いよ／＼四月一日から開通の運びとなるにいたり、定期二回を往復運轉することとなつたので、交通の便はこの上もなく地方の發展上、大いに得るところありと期待されて居る。尙ほ小河内村の如き此程から町村電話も開通されて村民の喜びも一方でない、因に太田川を幹線とし申

心とする地方交通自動車網は前記の如くして全く完備した譯である。

四 國 方 面

徳島縣美馬郡穴吹橋は四月二十二日午前十時半開通式を舉行した。恰も此日は日曜日で且つ地方の休日になつて居たので穴吹町始めての盛況を呈すべく豫想されたが折悪しく雨となつて餘興など晴天を待つこととなつた、橋上から穴吹高等女學校の新しい講堂に移された式場で先づ神事は嚴かに行はれ知事の式辭土木課長の工事報告縣會議長町村長總代協賛會長の祝辭があつて祭典を終つた、次で生徒其他の手で優美に裝飾された二箇所の會場で盛宴は張られた、尙同校は各方面から出品せる寫眞及び同校の蒐集せる寫眞參考品等によつて橋梁展覽會を開催した。府縣道脇町穴吹線の吉野川を横斷する處は丁度池田と徳島間の中間に

位して香川縣長尾町を経て高松市へ連絡する要衝に當つて居るが從來總かに渡船を以て交通を維持し、右岸の鐵道驛と左岸に發着する自動車とは其連結を許されなかつたが、曩年縣の樹てた所謂十一大橋梁の一として今回本橋の竣工を見たのである、本橋の使命は前年竣工した三好橋と目下工事中の吉野川橋と相俟つて吉野川を征服するものであり其の交通産業の上に多大の寄與をなすものである。

九州方面

久留米市道路問題

久大線聯絡道路開鑿は最急務

久留米市では四月十九日午後二時から土木委員會を開き

△久大線東久留米驛に連絡すべき一丁目線道路延長四百二十七間の開鑿認定の件
△六ツ門筋から三井電を横切り九鐵急行

電車の南側に至る東西町線道路延長四百四十間の開鑿認定の件△九鐵大牟田延長津福東西線路線決定の件六間幅延長三百九十八間△日吉町神戸館筋を三本町に突き抜ける市道新設の件延長八十七間

につき協議し何れも原案通り決定した、一丁目線東西町線の兩道路開鑿に關しては本年度に於て其の工費豫算を市會に提案されたけれども財政難を理由として、一ヶ年繰延となつた、右二線は来る十一月久大西線久留米吉井間の開通決定した爲之が急施を必要とするに至つたからである、又津福東西線は昨年施工すべく既に工費一萬四千八百六十六圓を決定して居るが、九鐵大牟田延長線敷設に伴ひ津福町に建設さる、大車庫の位置未定のため今日まで工事を繰延べてゐたもので、路線決定の上は直に起工される譯である、日吉町神戸館通りは市の中心地で三本松町に突き抜ける事は急務中

の急務とされ、これが開鑿は延長僅かに八十七間に過ぎないが、一般市民の便益は頗る大なるものあり非常に好感を以て迎へられてゐる。

福島町の新道計畫

福岡縣八女郡福島町の新道路計畫は、昭和四年迄に裁判所西線、京町から北へ無量壽院東側裁判所西を経て府縣道迄幅員四間延長二百二十九間、本町南線が縣工業試験場前町村道から乾蘭所南及京町裏新町を経て稻富に至る幅員四間延長五百八十五間、工業試験線が唐人町南裏國道から南へ五町野を経て三河村境に至る幅四間延長二百十七間、紺屋町南裏線が西紺屋町から東へ工業試験所前町村道に通ずる幅員四間長六丁四間、小學校西側線が小學校西南角から北へ府縣道を経て松原火葬場に至る幅四間延長百四十五間で既定の四線と合せて九線となり竣工の上は接續の結果縦斷線が三線横斷線が三線となり一般交通上新面目を現出する事であらうと期待されて居る。